

# 政 策 9

～生涯学習やスポーツを

楽しむことができるようにします～

## 後期基本計画における「めざそう値」等一覧

### 【めざしたい将来像】

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
学習活動を行っている市民の割合	めざそう値 (目標)	—	50.0%	44%	—	45%	50%
	実績値	39.8%	39.3%	39.0%	39.3%		
学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合	めざそう値 (目標)	—	75.0%	70%	—	70%	75%
	実績値	66.1%	69.3%	58.9%	60.9%		
目的を持って部活動をしている児童生徒の割合	めざそう値 (目標)	—	—	82%	—	86%	90%
	実績値	77.6%	80.9% (H22)	80.9%	82.8%		
スポーツを行なっている市民の割合	めざそう値 (目標)	—	50.0%	42%	—	45%	50%
	実績値	35.9%	36.1%	34.4%	37.5%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

# 政策9

## 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようになります

### 1. 学習したい人が生涯にわたり学習できるようにします

#### 1. 現況と課題

平成18年の教育基本法の改正によって、「国民一人一人が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念が規定されました。

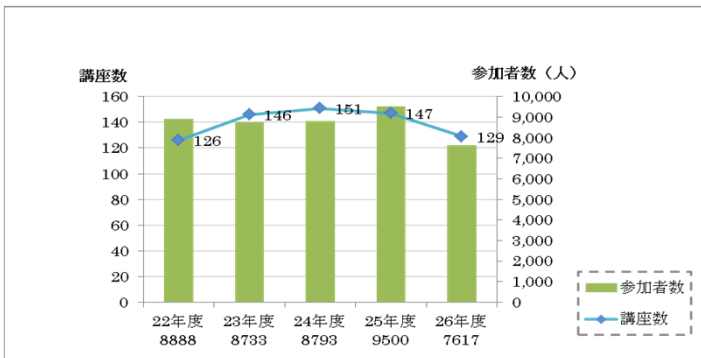
なお、市民意識調査による「学習活動を行っている市民の割合」は、平成13年度44.4%だったものが、27年度には39.3%と減少し、「学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合」は、平成13年度の69.4%から27年度に、60.9%に減少しています。

仕事をリタイアしてから、今後の人生を豊かに送るために、生涯学習をしたいという人が増加すると見込まれますが、個人だけでなく、社会全体の教育力向上を目指すためにも、単なる場所や情報の提供ではなく、知の循環や知の広がり、深まりが生まれる仕組みを考えることも生涯学習社会には必要です。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① IT機器の普及により、インターネットを活用した情報収集が増加しています（ニーズの増）
- ② 社会教育関係登録団体の各団体構成員数は高齢化による減少傾向にあり、若い世代の参加が求められています
- ③ 生涯学習活動の機会の拡充と場の充実が求められています（ニーズの増）

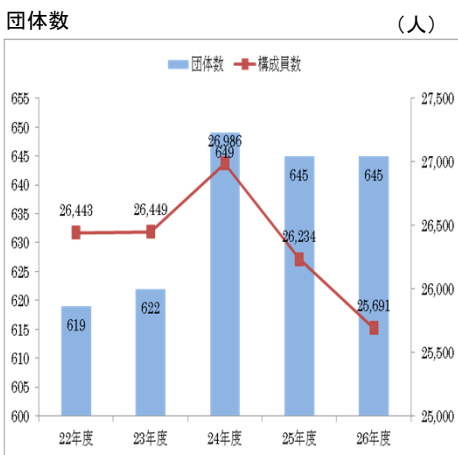
#### ●生涯学習推進講座実績推移



出典 生涯学習推進課事業報告書

#### ●社会教育関係団体登録数の推移

社会教育関係団体：法人であるかと否を問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的としているものです。



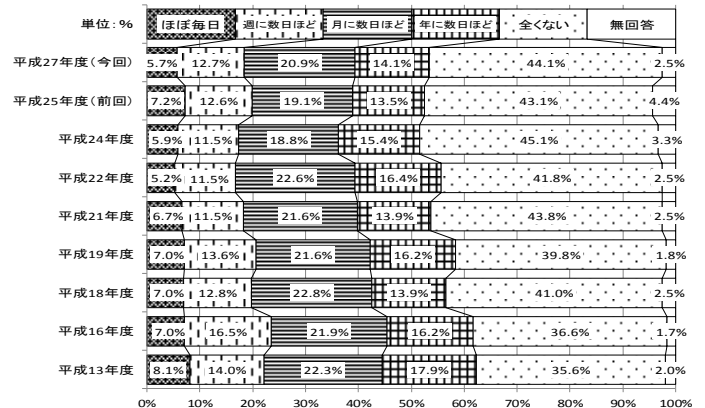
出典 松戸市の社会教育

#### ●生涯学習推進講座種類

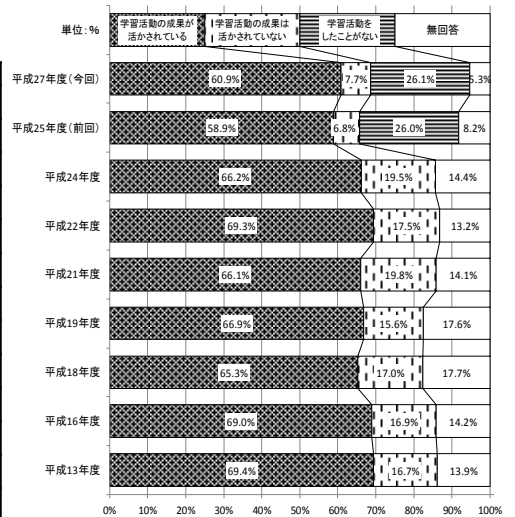
講座名
まつど生涯学習大学講座
ふるさと発見創造講座
市民自主企画講座
市民大学講座
基礎学力再履修講座
成人講座
家庭教育学級
幼児家庭教育学級
中学校家庭教育学級講座
おやこっクラブ(子育て支援事業)
人権学習
矢切公民館文化祭
矢切公民館音楽祭

出典 松戸市の社会教育

#### ●学習活動を行っている市民の割合



#### ●学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合



出典 松戸市市民意識調査(平成27年度)

## 2. 施策の展開方向

自ら目標を持って学習をする市民団体等を支援し、利用促進を図るため、広報やホームページ等で情報提供し、公民館、青少年会館、図書館などの施設を快適に使用できるように管理運営します。

市民団体等に所属しなくても学習ができるように、生涯学習推進課や青少年会館が講座・講演会等を開催します。また、学習の成果を発表できる機会を設けます。

図書館は、身近な生涯学習の中核的施設として、市民自らの学びを支援していきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

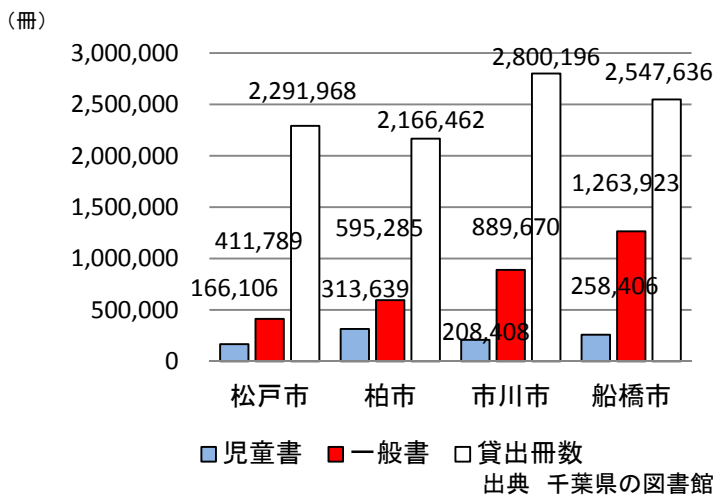
生涯学習活動の機会の拡充と場の充実を図るためには、市民ニーズに合った施設サービスの提供が求められており、既存の社会教育施設を有効に活用するための見直しが必要です。

また、自らの学習成果を発表できる機会を支援していくことや、生涯学習を通してのまちづくりや、ひとづくりを考えた環境整備が課題と言えます。

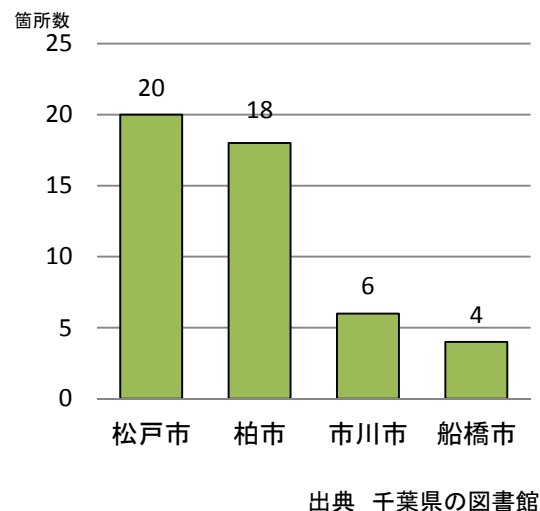
### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 図書館分館が地域各所に設置されているので、市民の利便性が高くなっています（強み）
- ② 生涯学習推進課は、多様な学習機会の提供や学習成果の発表の機会を設けています（強み）

●図書館蔵書冊数と貸出冊数の比較(H26年度)



●図書館数(分館を含む)



●市民自主企画講座より

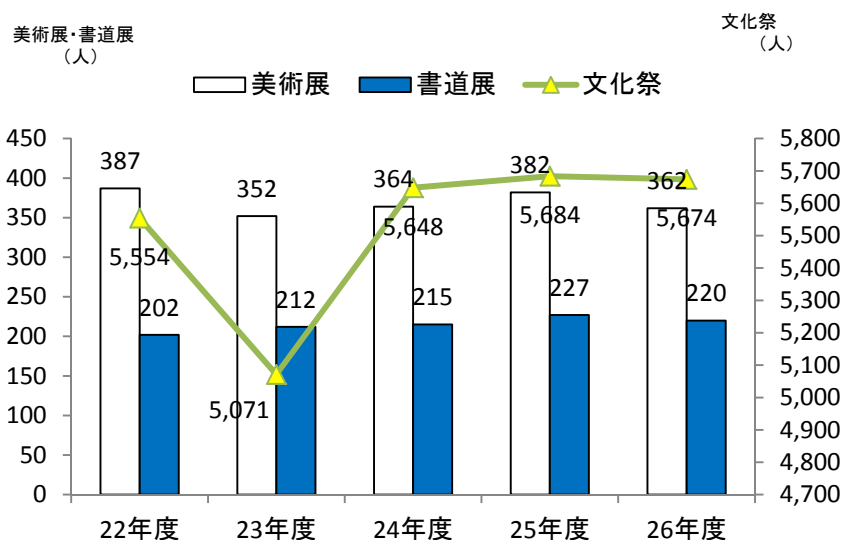


●松戸市文化祭



出典 生涯学習推進課資料

●各展覧会等参加者数の推移



# 政策9

生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

2.子どもたちが健全に社会参加活動ができるようにします

## 1. 現況と課題

近年、子どもの体験活動の場や機会が減少しています。かつて子どもたちは仲間とともに自然の中での遊びや地域において生活、成長して行く過程で、様々な自然体験・社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会に恵まれていましたが、都市化、少子化、電子メディアの普及、地域とのつながりの希薄化といった社会の変化などにより、これまで身近にあった遊びや体験の場や本物を見る機会が少なくなっています。

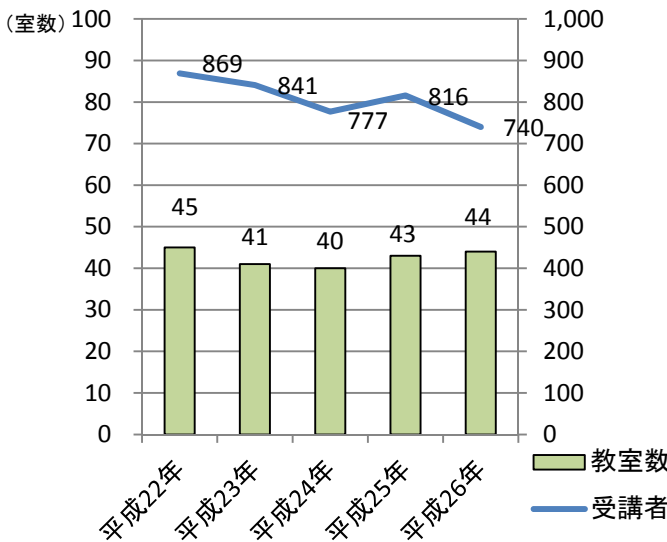
体験活動が豊富な子どもほど、意欲や関心、規範意識が高く、学力へも好影響が見られることから、集団活動の場、自然体験、勤労体験など多様な体験の場が必要とされています。また、松戸市社会教育に関するアンケート調査によると、大人は子どもが体験活動・学習活動を盛んに行い、その成果として豊かな心や社会的なルールなどを体得することを期待しています。

しかしながら、社会とのかかわりを体験できるような講座を開催しても、塾や習い事等で子どもたち、特に中学生以上の参加が難しく、その参加を促進することが課題となっています。

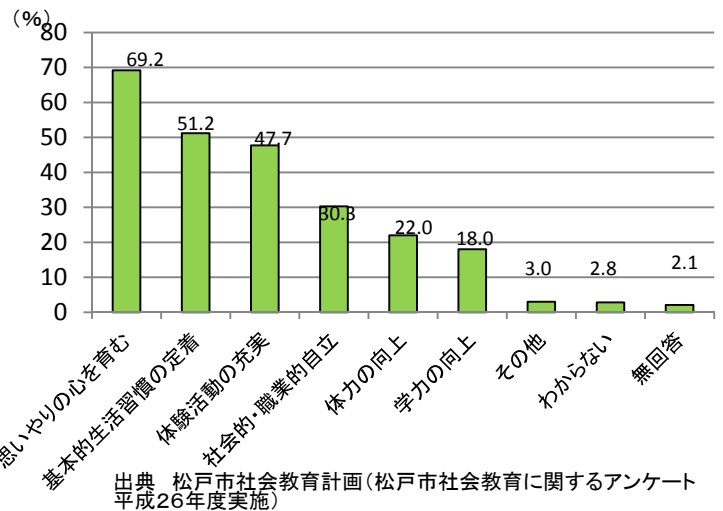
### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 地域活動に青少年が参加できる環境整備が必要になっています（ニーズの増）
- ② 学習・体験活動をするため、また出会いや仲間づくりの機会など多様な学習体験の機会が求められています（ニーズの増）
- ③ 家庭、学校、地域が連携して子どもの学びを支援することが期待されています（ニーズの増）

### ●青少年教室等実施推移



### ●地域、学校、家庭が連携して小中学生の学びを支援することで期待できる効果



### ●青少年教室



出典 青少年会館資料

## 2. 施策の展開方向

行政はもちろんのこと、家庭・学校・地域社会それぞれと緊密に連携をとりながら、地域における青少年の健全育成に取り組んでいきます。

地域でどのような人たちが青少年の健全育成に携わっているかを把握し、地域における人材活用を図ることにより、青少年が自らの地域や様々な年齢の人たちとの関わりをもてるような事業を展開していきます。また、中高生等のニーズに対応した事業の実施により、参加が難しい年齢層の参加促進を図っていきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

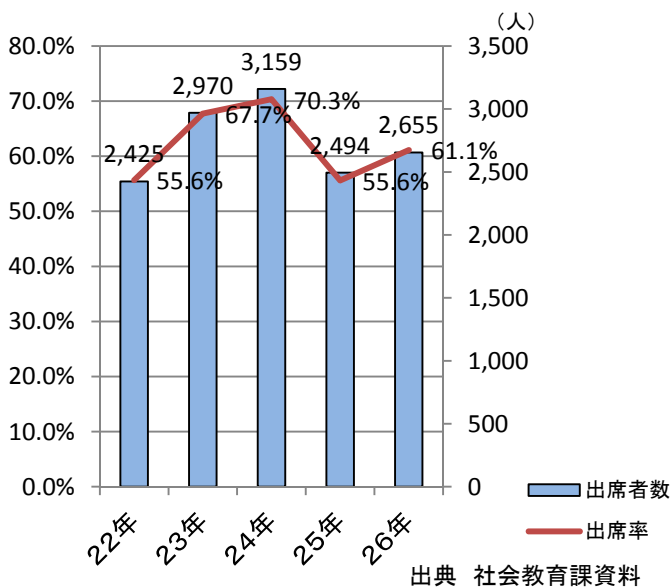
多種・多様な市民ニーズに対応するため、各種団体のグループライダー育成や、各種関係団体との連携を強化し、協働で事業を行うなど、地域活動を活性化していくことが必要ですが、地域活動を行う人材確保が難しいという現状があります。

また、家庭教育支援や地域における子どもたちの多様な体験活動の充実のために家庭・学校・地域の連携強化が必要です。

### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 新成人スタッフ制による成人式は、市民・行政の協働により行われています（強み）
- ② 青少年対象講座は、幅広い分野を数多く開催提供しています（強み）

#### ●松戸市成人式出席者数の推移



#### ●成人式



出典 社会教育課資料

#### ●青少年会館事業内容

事業名	内容
青少年教室	芸術・文化・自然・スポーツ等の教室を開催し、青少年が自ら学習し、仲間づくりを行なう機会とする。
青年講座	青年に身近な課題をとりあげ学習する講座を開催し、自己表現力を高め活力ある仲間づくりを目指す。
文化祭&青年フェスティバル	講座の受講生と青少年サークルの発表成果やイベントを行い、団体相互や地域の方との交流、親睦を図る。
国際交流事業	諸外国の生活・文化・風習に触れる講座を開催し、国際的な視野を広げる機会とする。
青年学級	特別支援学校卒業後の青年の自立、余暇活動の充実仲間づくりを支援する講座を開催。
アートパフォーマンスまつり	地域で芸術活動をする青年たちの成果発表と、団体間の交流、親睦を深め、地域に融合する芸術祭を開催。

出典 松戸市の社会教育

#### ●家庭教育支援事業内容

事業名	内容
家庭教育学級	小学生の保護者同士が、家庭教育のあり方について、学校と連携しながら継続的に学習する場として開設
幼児家庭教育学級	3歳児とその親を対象に、子どもや家族との関係を見直し、あわせて自分の生き方を考え、また、子どもは集団での体験を学ぶ講座を開催
中学校家庭教育学級	思春期の子どもを親を対象に子どもや家族との関係を見直し、あわせて自分の生き方を考える講座を開催
幼児教育支援	0～5歳の乳幼児期の家庭教育に焦点をあてその保護者を対象に情報と学習機会を提供
子育て支援事業	親子間のコミュニケーションを深めることを目的とした親子で楽しめる講演会を開催

出典 生涯学習推進課資料

# 政策9

## 生涯学習やスポーツを楽しむことができますようにします

### 3.スポーツをしたい人がスポーツをできるようにします

#### 1. 現況と課題

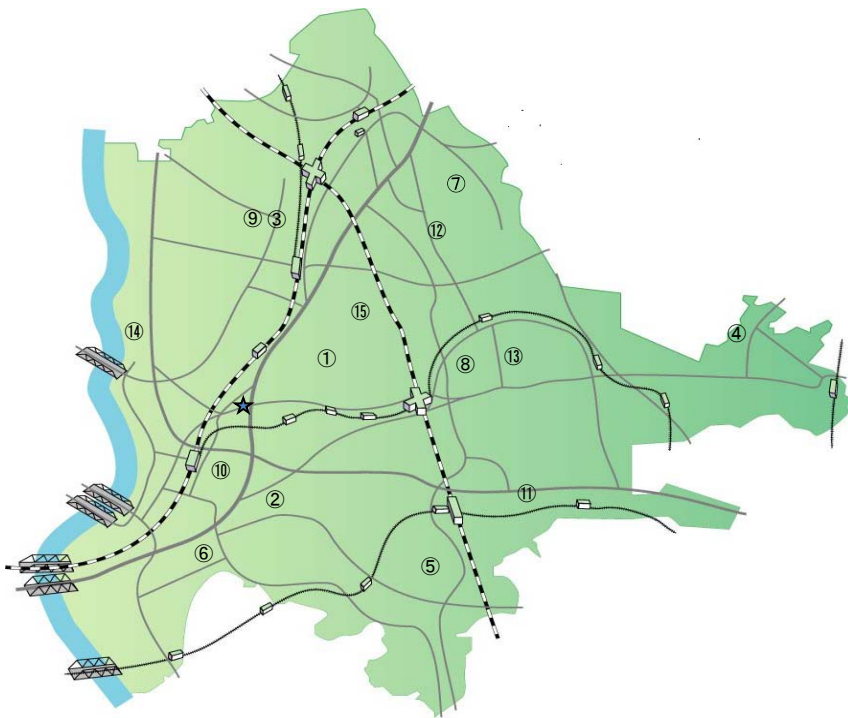
市民意識調査によると、スポーツをしている割合は平成13年度33.4%に対し、27年度は37.5%に増加しています。近隣市と比較して、体育施設の利用は多く、学校の体育施設の利用も増加傾向にあり、地域の活動が盛んに行われています。

体育施設を含む公共施設の利用申請等の手続きを簡易にし、限られた施設を有効かつ公平に提供するため、予約システムを導入するなど施設環境整備に取り組んでいます。

#### 【特筆すべきニーズの変化】

- ① 公共施設を利用して、多くの方がスポーツを楽しんでいます（ニーズの増）
- ② 様々な競技種目の専用施設が求められています（ニーズの増）

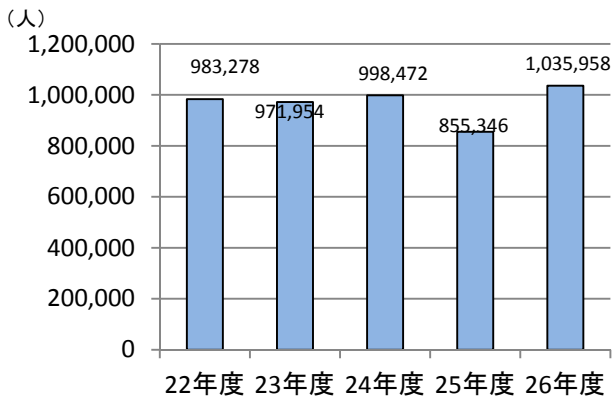
#### ●体育施設一覧



施設名	所在地
①松戸運動公園	上本郷4434
②和名ヶ谷スポーツセンター	和名ヶ谷1360
③青少年会館体育室	新松戸南2丁目2
④クリーンセンタースポーツ施設	高柳新田37
⑤東部スポーツパーク	高塚新田427
⑥柿ノ木台公園体育館	松戸594-7
⑦小金原体育館	小金原6丁目4-1
⑧常盤平体育館	常盤平松葉町1-3
⑨新松戸プール	新松戸南2丁目3
⑩松戸中央公園庭球場	岩瀬487-1
⑪紙敷庭球場	紙敷2-1-1
⑫栗ヶ沢公園庭球場	小金原8丁目26
⑬金ヶ作公園庭球場	常盤平3丁目27-1
⑭古ヶ崎河川敷スポーツ広場	古ヶ崎地先
⑮千駄堀スポーツ広場	千駄堀地先

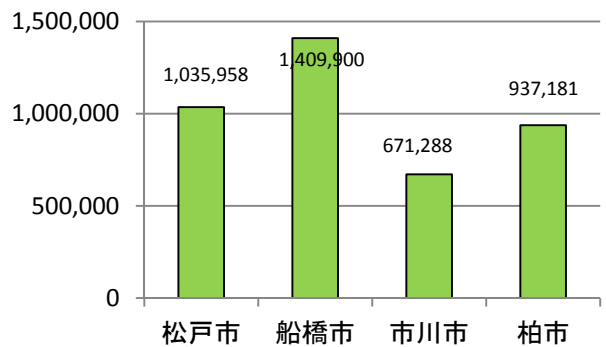
出典 スポーツ課資料

#### ●体育施設利用状況推移



出典 松戸市の社会教育

#### ●近隣体育施設利用状況(H26年度)



出典 船橋市スポーツ課、市川市スポーツ課、柏市教育年報、松戸市の社会教育よりデータ取得

## 2. 施策の展開方向

生涯スポーツの普及と推進について、全ての市民が、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを通して、健康で明るい活力ある生活が送れるよう、スポーツに親しめる環境づくりを推進していきます。また、スポーツを通しての交流や団体及び指導者の育成・支援を進めていきます。

## 3. 施策を推進していく上での課題

東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、市民のスポーツへの関心の高まりが予想されます。しかし、スポーツをしている市民の割合を増やすためには、現有施設のキャパシティや老朽化があり、スポーツを取り巻く環境の整備が必要です。また、全国大会レベルの出場選手の育成を支援していくことも必要です。

「総合型地域スポーツクラブ」については、設立されたクラブの自主運営の安定化や市の支援の方法が課題と言えます。

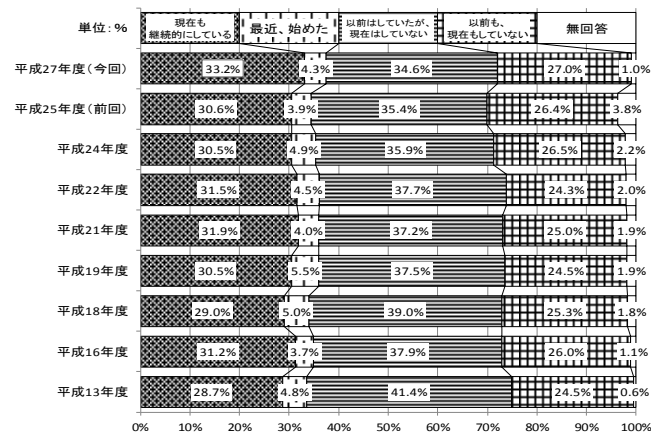
### 【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 競技レベルが高く、全国大会へ出場する選手が数多くいます（強み）
- ② スポーツ施設の老朽化が進み、改修や修繕が必要となっています（弱み）

#### ●スポーツ教室

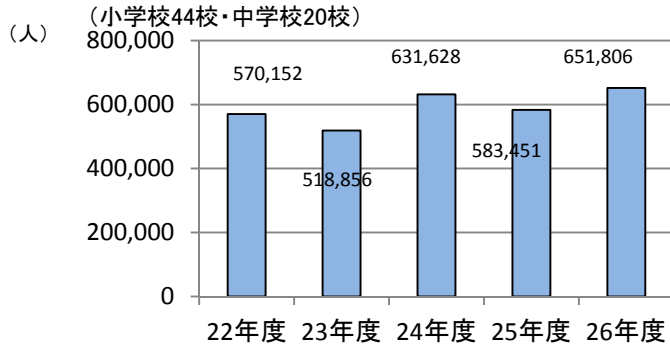


●スポーツをしている割合 出典 スポーツ課資料



出典 松戸市市民意識調査(平成27年度)

#### ●学校体育施設開放利用状況推移



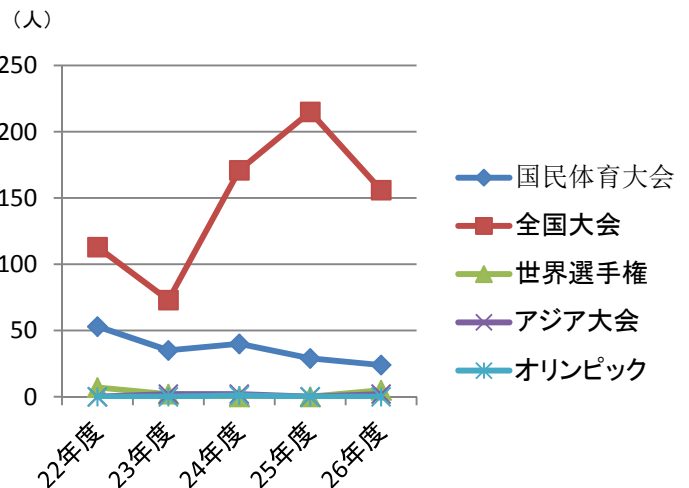
出典 スポーツ課資料

#### ●七草マラソン大会



出典 スポーツ課資料

#### ●激励金年度別交付状況推移



	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
国民体育大会	53	35	40	29	24
全国大会	113	73	171	215	156
世界選手権	7	2	0	0	5
アジア大会	0	2	2	0	2
オリンピック	0	0	1	0	0
合計	173	112	214	244	187

出典 スポーツ課資料